

注3

大学番号：私216

[平成25年度設置]

計画の区分：学部学科設置

注1

届出

東京薬科大学 生命科学部 生命医科学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人東京薬科大学
平成25年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	学務部学務課
職名・氏名	部長 <small>マエダ コウイチロウ</small> 前田 耕一郎
電話番号	042-676-7306
（夜間）	042-676-5111
F A X	042-676-4714
e-mail	gakumu@toyaku.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部
(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成25年3月15日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人東京薬科大学

(2) 大学名

東京薬科大学

(3) 大学の位置

〒192-0392

東京都八王子市堀之内1432番地1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(イマニシ ノブユキ) 今西 信幸 (平成23年10月)		
学長	(ササツ マサノリ) 笹津 備規 (平成23年4月)		
学部長	(フカミ キヨコ) 深見 希代子 (平成24年4月)		
学科長等	(タナカ マサト) 田中 正人 (平成25年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成23年度に報告済の内容 → (23)

平成25年度に報告する内容 → (25)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成22年度開設の4年制の学科の場合(平成25年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
生命科学学部 生命医科学科 学士(生命科学)	4年	100人	3年次 1人	402人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平均入学定員 超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	() []	() []	100 (-) []	(-) []	1.12倍	出願時には留学生であることの確認をしていないため、「志願者数」「受験者数」「合格者数」の留学者数は、入学者数を記入。
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	896 (-) []	(-) []		
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	875 (-) []	(-) []		
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	277 (-) []	(-) []		
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	112 (-) []	(-) []		
入学定員超過率 B/A							1.12			

- (注) ・ 数字は, 平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	対象年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[1]	[—]	
2年次	/		[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	
3年次			/		[]	[]	[]	[]	[]	[]	
4年次	/				[]	[]	[]	[]	[]	[]	
計			[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[1]	
									112		

- (注) ・ 数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成22年度 入学者	人	0人	平成22年度	人	人		#DIV/0! %
			平成23年度	人	人		
			平成24年度	人	人		
			平成25年度	人	人		
平成23年度 入学者	人	0人	平成23年度	人	人		#DIV/0! %
			平成24年度	人	人		
			平成25年度	人	人		
平成24年度 入学者	人	0人	平成24年度	人	人		#DIV/0! %
			平成25年度	人	人		
平成25年度 入学者	112人	0人	平成25年度	0人	0人		0 %
合計	112人	0人					0 %

(注)・数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成25年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(0人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<生命科学部 生命医科学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
必修総合科目	生命医科学ゼミナール	1前	1			6 7		4	2			兼任辞退により教員数変更 (25)
	生命科学と社会	1前	2									兼1
	地球環境論	1前	1									兼1
	情報科学 I	1前	1									兼3
	情報科学 II	1後	1									兼2
	Academic English I	1前	2									兼13 兼14 兼任辞退により教員数変更 (25)
	Academic English II	1後	2									兼13 兼14 兼任辞退により教員数変更 (25)
	Academic English III	2前	2									兼14
	Academic English IV	2後	2									兼14
	English for Science I	3前	1									兼3
English for Science II	3後	1				7	4	2	7	1	兼6	
生命と倫理	4後	2				1					兼3	
必修専門科目	数学 I	1前	1									兼1
	数学 II	1後	1									兼1
	生命物理学 I	1前	1									兼1
	生命物理学 II	1後	1									兼1
	無機化学	1前	1									兼1
	生物無機化学	1後	1									兼2
	有機化学 I	1前	1									兼1
	有機化学 II	1後	1									兼1
	生物学	1前	1									兼1
	微生物学	1後	1									兼1
	生体物質学	1後	1				1					兼1
	遺伝生化学	1後	1				1					
	基礎生命科学演習 I	1前	1									兼5
	基礎生命科学演習 II	1後	1				2					兼7 教育内容の更なる 充実のため、教員を追加 (25) 兼6
	基礎生命科学実習 I (物理)	1後	1				3	2		3		兼5
基礎生命科学実習 I (化学)	1後	1				7	4	2	7	4	兼37 教職課程認定審査に おける指摘により、 3科目に分割 (25)	
基礎生命科学実習 I (生物)	1後	1				2	1		1		兼9	
	1後	1				3	1	1	3		兼7	

選択総合科目	経済学	1後		2					兼1	教員就任辞退により、 教員数を変更 (25)
	法学 (日本国憲法)	1前		2					兼1	
	心理学	1後		2					兼1	
	哲学	1前		2					兼1	
	科学史	1後		2					兼1	
	ドイツの言語文化	1通		2					兼2	
									兼1	
	フランスの言語文化	1通		2					兼2	
	中国の言語文化	1通		2					兼1	
	スポーツ I	1前		1					兼2	
	スポーツ II	2後		1					兼2	
	プログラミング基礎	2後		1					兼1	
	言語科学概論	2前		2					兼1	
									兼2	
	バイオ情報科学	3前		2					兼1	
	外国文学	3後		2					兼3	
	生命科学知財論	3後		2					兼1	
	言語とコミュニケーション論 I	3前		2					兼1	
	言語とコミュニケーション論 II	3後		2					兼1	
	English and Life Sciences in the USA	1,2,3,4前		2					兼1	
地学	2後		1					兼1		
選択専門指定科目 (生命医科学科指定科目)	創薬概論	2後		1		1			兼1	教職課程認定審査に おける指摘により、 科目区分を変更 (25)
	天然医薬品化学	2後		1					兼1	
	医療計測学	2後		1		1				
	実験動物学	2後		1			2			
	発生生物学	3前		2		4		4		
	薬理学概論	3前		2			1			
	遺伝子工学 II・遺伝子治療学	3後		2		1			兼1	
	分子病理学	3前		2		1				
	ゲノム医科学	3前		2		1	1			
	生命医科学特講	3前		2					兼8	
	代謝医科学	3前		2		2				
	神経生物学 II	3後		2					兼1	
	発生再生医学	3後		2		1				
	炎症医科学	3後		2			1			
	神経薬理学	3後		2					兼1	

選択専門科目	生態学概論	2後	1						兼1
	応用生物学	2後	1						兼1
	生活と環境の科学	2後	1						兼1
	植物生理学	2前	1						兼2
	応用数学	2前	1						兼1
	生物物理学	3前	2						兼1
	食品衛生学	3前	2						兼1
	応用分析化学 I	3前	2						兼2
	応用微生物学	3前	2						兼1
	放射線生物影響論	3前	2						兼2
	環境生態学	3前	2						兼1
	環境生理学	3前	2						兼3
	環境工学	3前	2						兼1
	蛋白質工学	3前	2						兼1
	進化系統学	3後	2						兼1
	多様性生物学	3後	2						兼1
	環境毒性学	3後	2						兼5
	応用分析化学 II	3後	2						兼1
	資源生物学	3後	2						兼1
	産業衛生管理学	3後	2						兼1
医薬品合成化学	3後	2						兼1	
ケミカルバイオロジー	3後	2						兼1	

自由科目	大学英語入門 基礎英語	1前			1					兼2 兼1	教職課程認定審査における指摘により、科目名称を変更 国際教育の機会を増やすため、 教員を追加 (25)	
	初等数学 基礎数学	1前			1					兼1	教職課程認定審査における指摘により、 科目名称を変更 (25)	
	初等物理学 基礎物理学	1前			1					兼1	教職課程認定審査における指摘により、 科目名称を変更 (25)	
	初等化学 基礎化学	1前			1					兼1	教職課程認定審査における指摘により、 科目名称を変更 (25)	
	初等生物学 基礎生物学	1前			1					兼1	教職課程認定審査における指摘により、 科目名称を変更 (25)	
	基礎物理学	1後			1					兼5 兼1	教職課程認定審査における指摘により、 科目を追加 (25)	
	基礎化学	1後			1					兼4 兼1	教職課程認定審査における指摘により、 科目を追加 (25)	
	言語科学ゼミナール	1前			1					兼1 兼2	教員就任辞退により、 教員数を変更 (25)	
	地学実習	2後			1					兼1		
	生命科学特別演習	2,3通			2	7	4	2	7	1	兼8	
	インターンシップ	3前			1	1						
	生命科学と社会 (応用演習)	3前			1						兼2	社会人基礎力涵養の理由により、 科目を追加 (25)

教職科目	教職概論	1後	2						兼1		
	教育方法・技術論	1後	2						兼1		
	教育原理	2前	2						兼2	教職課程認定審査における指摘により、 兼1 教員を追加 (25)	
	教育行政学	2前	2						兼1		
	特別活動指導論										
	教育課程研究(特別活動の指導方法を含む)	2前	2						兼1	教職課程認定審査における指摘により、 科目名称を変更 (25)	
	道徳教育指導論										
	道徳教育の研究	2後	2						兼1	教職課程認定審査における指摘により、 科目名称を変更 (25)	
	教育心理学	3前	2						兼2	兼1 教職課程認定審査における指摘により、 教員を追加 (25)	
	理科教育法Ⅰ	3前	2						兼1		
	理科教育法Ⅱ	3前	2						兼1		
	理科教育法Ⅲ	3通	4						兼1		
	生徒・進路指導論	3後	2						兼1		
	教育相談									兼2	教職課程認定審査における指摘により、 科目名称を変更
	カウンセリング概論	3後	2						兼1	及び、教員を追加 (25)	
	教育実習Ⅰ	4前	3						兼2		
	教育実習Ⅱ	4前	2						兼2		
教職実践演習(中・高)	4後	2						兼3	兼1 教育内容の更なる 充実のため、 教員を追加 (25)		

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。で、前年度報告時(平成24年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見直し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消のまま黒字にしてください
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば赤字で見え直し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
54	55	9	133	57	55	12	139	
				[▲3]	[]	[▲3]	[▲6]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程な別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、届出時の計からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校舎敷地	100,898㎡	0㎡	0㎡	100,898㎡				
	運動場用地	13,153㎡	0㎡	0㎡	13,153㎡				
	小 計	114,051㎡	0㎡	0㎡	114,051㎡				
	そ の 他	173,849㎡	0㎡	0㎡	173,849㎡				
	合 計	287,900㎡	0㎡	0㎡	287,900㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
		65,582㎡ (65,582㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	65,582㎡ (65,582㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	10室 56室	10室 37室	6室 24室	1室 (補助職員 人)	届出時は大学全体の 状況を記入したが、 届出学部へ修正。			
	演 習 室								
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	生命科学部 生命医科学科			7 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点		
	生命科学部 生命医科学科	62,791 [8,051] 63,271 [8,108]	72 [0]	19,166 [10,605] 18,418 [9,992]	1,501 1,425	5,255	50,259		
		(62,791 [8,051]) (63,271 [8,108])	(72 [0])	(19,166 [10,605]) (18,418 [9,992])	(1,425)	(4,900)	(50,259)		
	計	62,791 [8,051] 63,271 [8,108]	72 [0]	19,166 [10,605] 18,418 [9,992]	1,501 1,425	5,255	50,259		
	(62,791 [8,051]) (63,271 [8,108])	(72 [0])	(19,166 [10,605]) (18,418 [9,992])	(1,425)	(4,900)	(50,259)			
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	1,846㎡		650		120,000				
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				大学全体		
	2,507㎡		多目的グラウンド 1面		テニスコート 4面				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書費には電子ジャーナル・データベースの設備費を含む 大学全体
		教員1人当り研究費等	1,200千円	1,200千円	図書購入費	110,188千円 116,600千円	110,000千円 116,600千円	110,000千円 116,600千円	
	共同研究費等	90,000千円 11,000千円	90,000千円 11,000千円	設備購入費	65,000千円 50,600千円	65,000千円 50,600千円	65,000千円 50,600千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	1,850千円	1,590千円	1,590千円	1,590千円	千円	千円			
学生納付金以外の維持方法の概要			国庫補助金収入、資産運用収入						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成25年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(25)」を「備考」に赤字で記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	東京薬科大学								備考	
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	定 員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	平成24年度より 学生募集停止	
	年	人	年次 人	人		倍				
薬学部										
医療薬学科	6	140	—	840	学士(薬学)	1.06	平成18年度	東京都八王子市 堀之内1432番地1		
医療薬物薬学科	6	140	—	840	学士(薬学)		平成18年度			
医療衛生薬学科	6	140	—	840	学士(薬学)		平成18年度			
生命科学部			3年次							
分子生命科学科	4	60	1	242	学士(生命科学)	1.14	平成6年度			
応用生命学科	4	60	1	242	学士(生命科学)		平成6年度			
生命医科学科	4	100	1	402	学士(生命科学)		平成25年度			
薬学研究科										
薬学専攻博士課程	4	10	—	40	博士(薬学)	0.60	平成24年度			
薬学専攻博士後期課程	3	—	—	—	博士(薬学)	—	昭和40年度			
薬科学専攻修士課程	2	5	—	10	修士(薬学)	1.40	平成22年度			
生命科学研究科										
生命科学専攻博士前期課程	2	65	—	130	修士(生命科学)	1.26	平成10年度			
生命科学専攻博士後期課程	3	10	—	30	博士(生命科学)	0.40	平成12年度			
大学の名称	〇〇短期大学								備考	
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	定 員 超過率	開 設 年 度	所 在 地		
	年	人	年次 人	人		倍				

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)について、それぞれの学校種ごとに、平成25年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。その際、AC対象学部学科等についても当該様式に記入してください。(ただし、専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)
- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<生命科学部 生命医科学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	田中弘文 (55)	平成25年4月	基礎生命科学実習Ⅰ	専任	教授	田中弘文 (55)	平成25年4月	基礎生命科学実習Ⅰ(物理)	平成25年4月から 教職課程認定審査における 指摘により、3科目に分割(25)
専	教授	田中正人 (49)	平成25年4月	基礎生命科学実習Ⅰ	専	教授	田中正人 (49)	平成25年4月	基礎生命科学実習Ⅰ(物理) 基礎生命科学実習Ⅰ(化学) 基礎生命科学実習Ⅰ(生物)	平成25年4月から 教職課程認定審査における 指摘により、3科目に分割(25)
専	教授	濱田洋文 (56)	平成25年4月	生命医科学ゼミナール 生命医科学概論※ 発生生物学※ 発生再生医学 腫瘍医学 English for Science II 基礎生命科学実習Ⅰ 基礎生命科学実習Ⅱ 生命医科学実習 生命科学特講 ゼミナール 卒業論文研究 生命科学特別演習	専	教授	渡部徹郎 (47)	平成25年7月	生命医科学ゼミナール 生命医科学概論※ 発生生物学※ 発生再生医学 腫瘍医学 English for Science II 基礎生命科学実習Ⅰ 基礎生命科学実習Ⅱ 生命医科学実習 生命科学特講 ゼミナール 卒業論文研究 生命科学特別演習	平成25年3月 濱田洋文教授就任辞退(25) 「生命医科学ゼミナール、 生命医科学概論」は、 他に担当教員がいるため、支 障はない。その他の科目は、 後任が決定している為支障は ない。
専	教授	深見希代子 (57)	平成25年4月	基礎生命科学実習Ⅰ	専	教授	深見希代子 (57)	平成25年4月	基礎生命科学実習Ⅰ(生物)	平成25年4月から 教職課程認定審査における 指摘により、3科目に分割(25)
専	教授	柳茂 (48)	平成25年4月	基礎生命科学実習Ⅰ	専	教授	柳茂 (48)	平成25年4月	基礎生命科学実習Ⅰ(物理) 基礎生命科学実習Ⅰ(化学) 基礎生命科学実習Ⅰ(生物)	平成25年4月から 教職課程認定審査における 指摘により、3科目に分割(25)
専	准教授	浅野謙一 (39)	平成25年4月	基礎生命科学実習Ⅰ	専	准教授	浅野謙一 (39)	平成25年4月	基礎生命科学実習Ⅰ(物理) 基礎生命科学実習Ⅰ(化学) 基礎生命科学実習Ⅰ(生物) 生命医科学概論	平成25年4月から 教職課程認定審査における 指摘により、3科目に分割(25) 教育内容の更なる充実のため、教員 を追加(25)
専	准教授	伊東史子 (40)	平成25年4月		専	准教授	伊東史子 (40)	平成25年4月	生命医科学概論	平成25年4月から 教育内容の更なる充実のため、教員 を追加(25)
専	准教授	内田 宏昭 (44)	平成25年4月	基礎生命科学実習Ⅰ	専	准教授	内田 宏昭 (44)	平成25年4月	基礎生命科学実習Ⅰ(物理) 生命医科学概論	平成25年4月から 教職課程認定審査における 指摘により、3科目に分割(25) 教育内容の更なる充実のため、教員 を追加(25)
専	准教授	松下 暢子 (46)	平成25年4月		専	准教授	松下 暢子 (46)	平成25年4月	生命医科学概論	平成25年4月から 教育内容の更なる充実のため、教員 を追加(25)
専	講師	中村 由和 (35)	平成25年4月	基礎生命科学実習Ⅰ	専	講師	中村 由和 (35)	平成25年4月	基礎生命科学実習Ⅰ(生物) 生命医科学概論	平成25年4月から 教職課程認定審査における 指摘により、3科目に分割(25) 教育内容の更なる充実のため、教員 を追加(25)
専	講師	福田 敏史 (40)	平成25年4月		専	講師	福田 敏史 (40)	平成25年4月	生命医科学概論	平成25年4月から 教育内容の更なる充実のため、教員 を追加(25)
専	助教	佐藤 礼子 (34)	平成25年4月	基礎生命科学実習Ⅰ	専	助教	佐藤 礼子 (34)	平成25年4月	基礎生命科学実習Ⅰ(生物)	平成25年4月から 教職課程認定審査における 指摘により、3科目に分割(25)
専	助教	西鉢 元 (36)	平成25年4月	基礎生命科学実習Ⅰ	専	助教	西鉢 元 (36)	平成25年4月	基礎生命科学実習Ⅰ(物理) 基礎生命科学実習Ⅰ(化学) 基礎生命科学実習Ⅰ(生物)	平成25年4月から 教職課程認定審査における 指摘により、3科目に分割(25)
専	助教	橋本 吉民 (40)	平成25年4月	基礎生命科学実習Ⅰ	専	助教	橋本 吉民 (40)	平成25年4月	基礎生命科学実習Ⅰ(物理)	平成25年4月から 教職課程認定審査における 指摘により、3科目に分割(25)

専	助教	福原 武志 (39)	平成25年4月	基礎生命科学実習Ⅰ	専	助教	福原 武志 (39)	平成25年4月	基礎生命科学実習Ⅰ (物理)	平成25年4月から 教職課程認定審査における 指摘により、3科目に分割 (25)
専	助教	米田 敦子 (43)	平成25年4月	基礎生命科学実習Ⅰ	専	助教	米田 敦子 (43)	平成25年4月	基礎生命科学実習Ⅰ (生物) 生命医科学概論	平成25年4月から 教職課程認定審査における 指摘により、3科目に分割 (25) 教育内容の更なる充実のため、教員 を追加 (25)
兼担	教授	浅野 俊雄 (63)	平成25年4月	教育心理学 カウンセリング概論	兼任	講師	霜田浩信 (43)	平成25年4月	教育心理学	平成25年4月から 教職課程認定審査における 指摘により、新規採用予定 (25)
					兼任	講師	杉江修治 (64)	平成27年4月	教育心理学	平成27年4月から 教職課程認定審査における 指摘により、新規採用予定 (25)
					兼任	教授	土屋明美 (60)	平成25年4月	教育相談	平成25年4月から 教職課程認定審査における 指摘により、新規採用 (25) 平成27年4月から 教職課程認定審査における 指摘により、科目名称を変更 (25)
					兼任	講師	河村茂雄 (54)	平成25年4月	教育相談	平成25年4月から 教職課程認定審査における 指摘により、新規採用 (25) 平成27年4月から 教職課程認定審査における 指摘により、科目名称を変更 (25)
					兼任	教授	浅野 俊雄 (63)	平成25年4月	地学 教職実践演習 (中・高)	平成26年4月から 教職課程認定審査における 指摘により、科目を追加 (25) 平成25年4月から 教育内容の更なる充実のため、教員 を追加 (25)
兼担	教授	伊藤 久央 (46)	平成25年4月	分析化学 基礎生命科学実習Ⅰ	兼任	教授	梅村知也 (41)	平成25年4月	分析化学	平成26年4月から 教育内容の充実を図る為 教員を変更 (25)
					兼任	教授	伊藤 久央 (46)	平成25年4月	基礎生命科学実習Ⅰ (化学) 基礎化学	平成25年度4月から 教職課程認定審査における 指摘により、3科目に分割 (25) 平成25年度から 教職課程認定審査における指摘によ り、科目を追加 (25)
兼担	教授	井上 英史 (55)	平成25年4月	分析化学 基礎生命科学実習Ⅰ	兼任	教授	梅村知也 (41)	平成25年4月	分析化学	平成26年4月から 教育内容の充実を図る為 教員を変更 (25)
					兼任	教授	伊藤 久央 (46)	平成25年4月	基礎生命科学実習Ⅰ (化学) 基礎化学 生命科学と社会 (応用演習)	平成25年度4月から 教職課程認定審査における 指摘により、3科目に分割 (25) 平成25年度から 教職課程認定審査における指摘によ り、科目を追加 (25) 平成27年度から 社会人基礎力涵養の理由により、 科目を追加 (25)

兼任	教授	甲斐 基文 (50)	平成25年4月	言語科学ゼミナール 基礎英語 Academic English I フランスの言語文化 Academic English II 言語科学論 言語とコミュニケーション論 I Academic English III Academic English IV English and Life Sciences in the USA 生命科学特講 生命科学特講 ゼミナール 卒業論文研究 生命科学特別演習					言語科学論 言語とコミュニケーション論 I Academic English III Academic English IV English and Life Sciences in the USA 生命科学特講 卒業論文研究 生命科学特別演習	平成25年3月 甲斐基文教授就任辞退 (25) 「就任未定」平成25年9月から 専任教員採用予定で公募中。 「言語科学ゼミナール、 Academic English I、フランスの言語文化、 Academic English II」は、 他に担当教員がいるため、支 障はない。その他の科目は、 次年度以降の科目の為支障は ない。
					兼任	講師	加藤 暁子 (51)	平成25年4月	大学英語入門	平成25年4月から 教職課程認定審査における 指摘により、科目名称を「基礎英 語」から「大学英語入門」に変更 (25) 平成25年4月より担当教員の変更 (25)
					兼任	講師	西 亮太 (32)	平成25年4月	大学英語入門	平成25年4月から 教職課程認定審査における 指摘により、科目名称を「基礎英 語」から「大学英語入門」に変更 (25) 平成25年4月より担当教員の変更 (25)
兼任	教授	木村 清治 (65)	平成25年4月	教職概論 教育原理 教育行政学 教育方法・技術論 道徳教育の研究 教育課程研究 生徒・道徳指導論	兼任	教授	田子 健 (57)	平成25年4月	教職概論 教育原理 教育行政学	平成25年4月から 教職課程認定審査における 指摘により、新規採用 (25)
					兼任	講師	三尾 忠男 (49)	平成25年4月	教育方法・技術論	平成25年4月から 教職課程認定審査における 指摘により、新規採用 (25)
					兼任	講師	古垣 光一 (64)	平成25年4月	道徳教育の研究 教育原理	平成25年4月から 教職課程認定審査における 指摘により、新規採用 (25)
					兼任	講師	森山 賢一 (46)	平成25年4月	特別活動指導論	平成26年4月から 教職課程認定審査における 指摘により、科目名称変更及び新規 採用予定 (25)
兼任	教授	小島 正樹 (46)	平成25年4月	分析化学 基礎生命科学実習 I	兼任	教授	梅村知也 (41)	平成25年4月	分析化学	平成26年4月から 教育内容の充実を図る為 教員を変更 (25)
					兼任	教授	小島 正樹 (46)	平成25年4月	基礎生命科学実習 I (物理)	平成25年度4月から 教職課程認定審査における 指摘により、3科目に分割 (25)
					兼任	教授	小島 正樹 (46)	平成25年4月	基礎物理学	平成25年度4月から 教職課程認定審査における 指摘により、科目を追加 (25)
兼任	教授	高須 昌子 (53)	平成25年4月	基礎生命科学実習 I	兼任	教授	高須 昌子 (53)	平成25年4月	基礎生命科学実習 I (物理) 基礎物理学	平成25年4月から 教職課程認定審査における 指摘により、3科目に分割 (25) 平成25年度4月から 教職課程認定審査における 指摘により、科目を追加 (25)
兼任	教授	都筑 幹夫 (61)	平成25年4月	基礎生命科学実習 I	兼任	教授	都筑 幹夫 (61)	平成25年4月	基礎生命科学実習 I (生物)	平成25年4月から 教職課程認定審査における 指摘により、3科目に分割 (25)
兼任	教授	宮川 博義 (62)	平成25年4月	基礎生命科学実習 I	兼任	教授	宮川 博義 (62)	平成25年4月	基礎生命科学実習 I (生物)	平成25年4月から 教職課程認定審査における 指摘により、3科目に分割 (25)
兼任	教授	山岸 明彦 (60)	平成25年4月	基礎生命科学実習 I	兼任	教授	山岸 明彦 (60)	平成25年4月	基礎生命科学実習 I (物理) 基礎生命科学実習 I (化学) 基礎生命科学実習 I (生物)	平成25年4月から 教職課程認定審査における 指摘により、3科目に分割 (25)
兼任	教授	渡邊 一哉 (50)	平成25年4月		兼任	教授	渡邊 一哉 (50)	平成25年4月	基礎生命科学演習 II 基礎化学	平成25年4月より 教育内容の更なる充実のため、 教員を追加 (25)

兼任	准教授	阿部 英樹 (40)	平成25年4月	分析化学 基礎生命科学実習Ⅰ	兼任 教授	梅村知也 (41)	平成25年4月	分析化学	平成26年4月から 教育内容の充実を図る為 教員を変更 (25)
					兼任 准教授	阿部 英樹 (40)	平成25年4月	基礎生命科学実習Ⅰ (化学)	平成25年度4月から 教職課程認定審査における 指摘により、3科目に分割 (25)
兼任	准教授	内田 達也 (48)	平成25年4月	分析化学 基礎生命科学実習Ⅰ	兼任 教授	梅村知也 (41)	平成25年4月	分析化学	平成26年4月から 教育内容の充実を図る為 教員を変更 (25)
					兼任 准教授	内田 達也 (48)	平成25年4月	基礎生命科学実習Ⅰ (化学) 基礎化学	平成25年度4月から 教職課程認定審査における 指摘により、3科目に分割 (25) 平成25年度から 教職課程認定審査における指摘によ り、科目を追加 (25)
兼任	准教授	藤原 (伊藤) 祥子 (52)	平成25年4月	基礎生命科学実習Ⅰ	兼任 准教授	藤原 (伊藤) 祥子 (52)	平成25年4月	基礎生命科学実習Ⅰ (生物)	平成25年4月から 教職課程認定審査における 指摘により、3科目に分割 (25)
兼任	准教授	森本 高子 (48)	平成25年4月	基礎生命科学実習Ⅰ	兼任 准教授	森本 高子 (48)	平成25年4月	基礎生命科学実習Ⅰ (生物)	平成25年4月から 教職課程認定審査における 指摘により、3科目に分割 (25)
兼任	講師	佐藤 典裕 (47)	平成25年4月	基礎生命科学実習Ⅰ	兼任 講師	佐藤 典裕 (47)	平成25年4月	基礎生命科学実習Ⅰ (生物)	平成25年4月から 教職課程認定審査における 指摘により、3科目に分割 (25)
兼任	講師	森河 良太 (46)	平成25年4月	基礎生命科学実習Ⅰ	兼任 講師	森河 良太 (46)	平成25年4月	基礎生命科学実習Ⅰ (物理) 基礎物理学	平成25年4月から 教職課程認定審査における 指摘により、3科目に分割 (25) 平成25年度4月から 教職課程認定審査における 指摘により、科目を追加 (25)
兼任	助教	青木 元秀 (36)	平成25年4月	基礎生命科学実習Ⅰ	兼任 助教	青木 元秀 (36)	平成25年4月	基礎生命科学実習Ⅰ (化学)	平成25年4月から 教職課程認定審査における 指摘により、3科目に分割 (25)
兼任	助教	熊田 英峰 (42)	平成25年4月	基礎生命科学実習Ⅰ	兼任 助教	熊田 英峰 (42)	平成25年4月	基礎生命科学実習Ⅰ (化学)	平成25年4月から 教職課程認定審査における 指摘により、3科目に分割 (25)
兼任	助教	宮川 毅 (46)	平成25年4月	基礎生命科学実習Ⅰ	兼任 助教	宮川 毅 (46)	平成25年4月	基礎生命科学実習Ⅰ (物理) 基礎物理学	平成25年4月から 教職課程認定審査における 指摘により、3科目に分割 (25) 平成25年度4月から 教職課程認定審査における 指摘により、科目を追加 (25)
兼任	助教	尹 永淑 (47)	平成25年4月	基礎生命科学実習Ⅰ	兼任 助教	尹 永淑 (47)	平成25年4月	基礎生命科学実習Ⅰ (化学)	平成25年4月から 教職課程認定審査における 指摘により、3科目に分割 (25)
兼任	助教	関 洋一 (36)	平成25年4月	基礎生命科学実習Ⅰ	兼任 助教	関 洋一 (36)	平成25年4月	基礎生命科学実習Ⅰ (生物)	平成25年4月から 教職課程認定審査における 指摘により、3科目に分割 (25)
兼任	助教	藤川 雄太 (32)	平成25年4月	基礎生命科学実習Ⅰ	兼任 助教	藤川 雄太 (32)	平成25年4月	基礎生命科学実習Ⅰ (化学)	平成25年4月から 教職課程認定審査における 指摘により、3科目に分割 (25)
兼任	講師	伊藤 正哉 (34)	平成25年4月	経済学	兼任 講師	荒井 智行 (34)	平成25年4月	経済学	平成25年3月 伊藤正哉講師就任辞任のため 平成25年度より担当者の変更 (25)
兼任	講師	今井 光子 (32)	平成25年4月	Academic English I Academic English II Academic English III Academic English IV	兼任 講師	福田 千恵 (46)	平成25年4月	Academic English I Academic English II Academic English III Academic English IV	平成25年3月 今井光子講師就任辞任のため 平成25年度より担当者の変更 (25)
兼任	講師	松本 哲哉 (50)	平成25年4月	生命医科学特講	兼任 講師	小林 了 (58)	平成25年4月	生命医科学特講	平成25年3月 松本哲哉講師就任辞任のため 平成25年度より担当者の変更 (25)

兼任	講師	ANDREA LITTLE (56)	平成25年4月	生命医科学特講	兼任	講師	IAN HENDERSON (46)	平成25年4月	生命医科学特講	平成25年3月 ANDREA LITTLE講師就任辞任のため 平成25年度より担当者の変更 (25)
					兼任	助教	田子 健 (57)	平成25年4月	教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教職実践演習(中・高)	平成25年4月から 教職課程認定審査における 指摘により、新規採用 (25)
					兼任	講師	千葉 吉裕 (50)	平成25年4月	生徒・進路指導論	平成25年4月から 教職課程認定審査における 指摘により、新規採用 (25)

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇学部 △△学科)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成25年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	教員の定年年齢	定年を延長している教員数
7	4	2	7	20	7	4	2	7	20	65	0
(6)	(4)	(2)	(7)	(19)	[]	[]	[]	[]	[]	歳	名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成25年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
 ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成25年5月1日現在、特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	教授	濱田 洋文	身心の故障により
2			
3			

(注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

後任者が7/1より着任予定であり、着任までの担当科目については、他に担当教員がいるため支障はない。
担当教員の変更については、学内掲示及び、ポータルサイトにより周知。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成25年4月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年△△月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。（認可で設置された学部学科等のみ。）
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<生命科学部 生命医科学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
該当なし	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

大学に自己評価委員会また、学部内に自己評価実施委員会、FD委員会が設置されており、学部および大学院の評価が行われる。加えて毎年教員活動報告書を作成し、研究に関しては学部内で「Annual Report」を作成して、点検・評価を行っている。教員評価については規則が設けられており、全ての教員に対して定期的に評価を行っている。教員の資質向上のためのFD活動は、全学FD実施委員会での方針に基づき、本学部では教科担当教員間で下記の実施活動に示す対応がされており、質の高い教育の実施に役立てられている。3学科制となったことによる学科独自の教務的な対応を教務委員会において審議し、FD活動を含めた生命科科学部運営に関する事項を教授会または教授総会に諮り審議する。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

教授総会は月1回～2回のペースで開催。

自己評価委員会及び自己評価実施委員会は不定期ではあるが、年間各3～5回程度開催。

FD委員会、教務委員会も不定期であるが、2か月に1回のペースで開催。

c 委員会の審議事項等

教授総会が4月10日、5月8日に開催され、本年度の講義科目の内容、専門科目選択状況等および本年度入学生のカリキュラムに関する内容が審議された。また、教員の質の向上を常に行っていることにより、設置当初の目標どおり遂行する。

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 授業アンケートの実施（全講義）
- ・ 授業方法について研究会参加
- ・ 教員相互の授業参観
- ・ 新任教員のための研修会 等

b 実施方法

- ・マークシート形式またはオンライン学習管理システムを利用し、全科目について学生の意見を聞き、アンケートを実施している。教員の授業方法の向上についてはワークショップに積極的に参加している。
- ・特定の教員の公開授業を実施し、参観した教員から意見聴取している。
- ・新任教員については「アドバイザーマニュアル」を配布、また非常勤教員向けに「講義に関する依頼」（講義及び成績評価に関する注意点）の配付を行っている。
- ・なお上記の実施内容・結果については全て教授総会にて報告している。
- ・教員は年度ごとの活動記録を作成している。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

マークシート形式またはオンライン学習管理システムを利用し、全科目のアンケートを実施している。前期（5～6月）後期（10～11月）ともに実施。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

授業アンケートの結果は講義担当者に伝える形でフィードバックしている。

理解度と満足度に関して分析し概ね相関がみられた。学生とのマッチングが良くない講義担当者には、自覚と改善の努力を求めるとともに伝えた。教務委員会で継続的に審議する。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

本年5月現在、生命医科学科授業カリキュラムを実施中である。生命医科学科独自の講義等に対する学生からの意見、感想等は、7月前期終了の後、学生にアンケートを行うことによって実施する予定である。また、演習・実習に関する意見、感想は1年次終了時に前期同様、後期（10～11月）にアンケートによって収集する。アンケート結果を集計し、その内容を検討しながら、学生の指導体制を強化していく。

b 教員や学生への公開状況、方法等

全科目を集計したものが教授総会の報告事項となり学部全教員に周知される。

学生には学内に掲示物、またホームページにも掲載することで広く公表しているものである。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

平成25年度の入学人数は生命医科学科112名、分子生命科学科69名、応用生命科学科69名の250名であった。

(入学辞退届締切後に10名の入学辞退者があった。)近年、生命科学部に入学する学生の多くが医科学研究に興味を抱くようになり、医科学系大学院への進学希望者が年々増加する傾向にあったことなどの理由から平成23年度より命医科学科の設置にむけ、医師として臨床研究に従事した経験を有し、疾患の病因・病態の解明や治療法開発に関する研究において実績のある教員を多数迎えて教育と研究を開始してきた。基礎医学とその医療への応用領域において活躍する研究者・技術者・実務者の養成を目的とした生命医科学科の理念に合致、または興味を持つ学生が確保できたと評価できる。

生命医科学科の趣旨、目的を達成するためのカリキュラムは当初の目標どおり進行している。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

- ・中間及び完成年度に公表予定

b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書を刊行し、学内に配布するとともに、大学ホームページ上に公開予定。

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成25年度に大学基準協会の評価を受ける予定(平成24年度までの点検評価)。

(注)・設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 無)

b 公表時期(未公表の場合は予定時期)

(平成25年11月予定)